

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

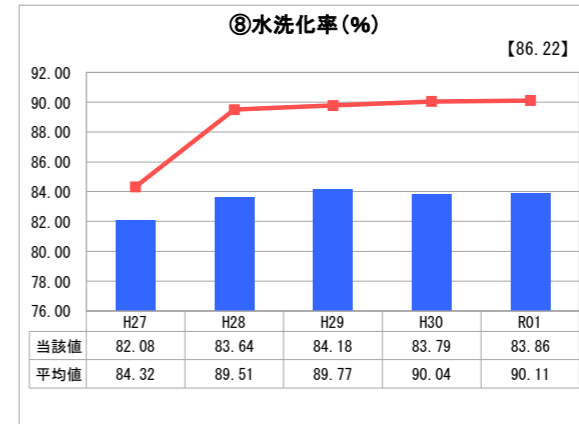
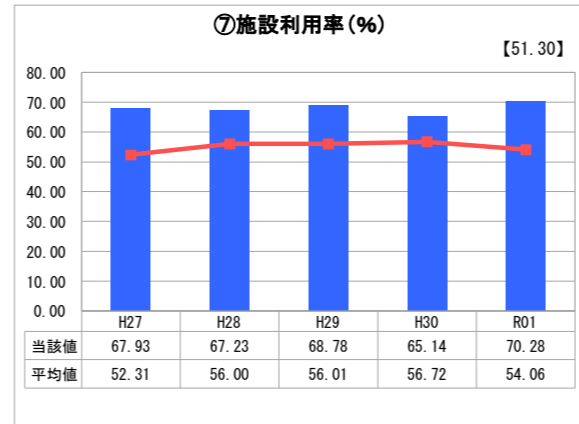
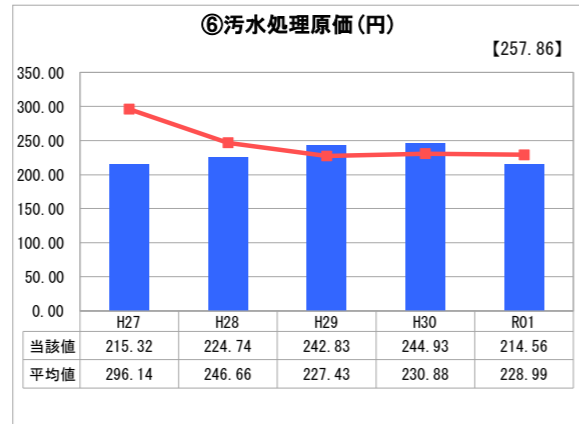
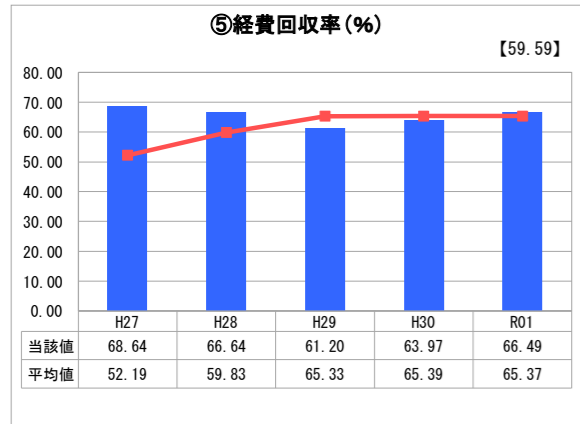
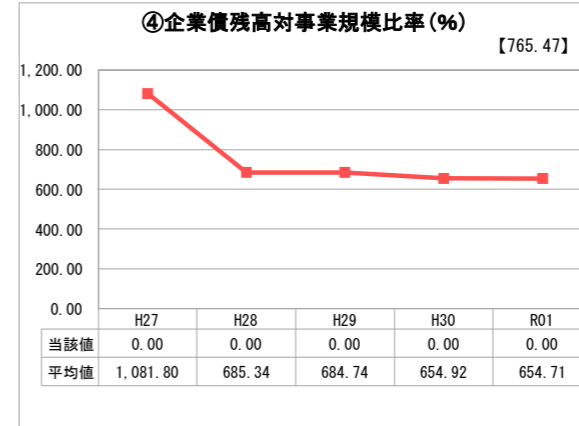
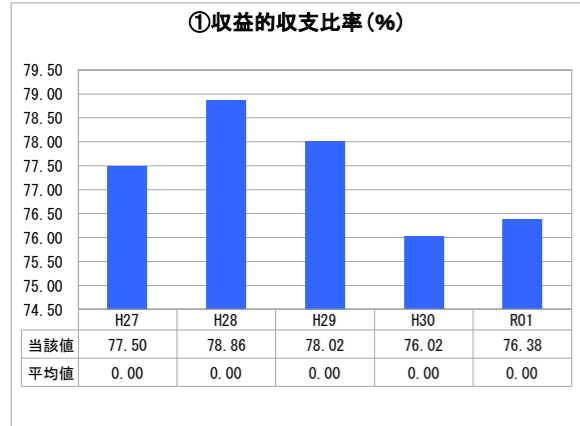
埼玉県 熊谷市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.78	100.00	4,180

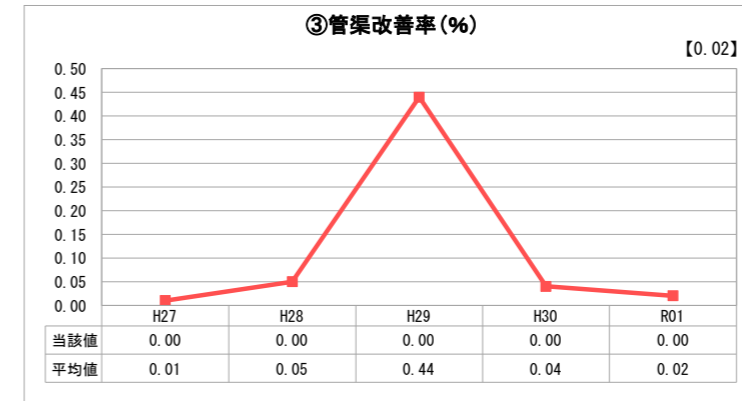
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
196,829	159.82	1,231.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,382	4.71	1,991.93

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
前年度と比較し、総費用の機能保全対策事業費が減少したため、0.36%の上昇となった。引き続き経費削減及び使用料増収に努めていく。

⑤経費回収率  
汚水処理費が減額となったため、昨年度より2.52%改善したが、汚水処理費を使用料のみでは賄えていない状況である。

⑥汚水処理原価  
汚水処理維持管理費が減少し、年間有収水量が増加したため、汚水処理原価が昨年度から30.37円減少となった。今後も引き続き経費削減に努めていく。

⑦施設利用率  
類似団体平均よりも高い水準を維持し、昨年度より5.14%増加している。  
類似団体と比べて効率的に稼働していると言えるが、処理能力には余裕があるため、未接続世帯の早期接続を推進していく。

⑧水洗化率  
昨年度より0.07%増となったものの、類似団体平均よりも低い水準となっている。  
引き続き未接続世帯の早期接続を促進していく。

### 2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、一般的な管渠の耐用年数である50年に達していないことから、更新は発生していないため、数値化されていない。  
しかし、昨年度策定した最適整備構想及び機能診断結果に基づき、処理施設及び管路施設の計画的な更新検討が必要となってくる。

## 全体総括

総費用の機能保全対策事業費が減少し、地域整備交付金の減額及び使用料収入の伸び悩み等があったが、前年度と比較すると全体的な指標は改善の兆候が見受けられる。  
しかしながら、依然として汚水処理費用を使用料で賄っておらず、基準外繰入金で補填していることから、さらなる効率的な事業運営が必要である。  
今後は、昨年度策定した最適整備構想及び詳細機能診断結果に基づき、維持管理費削減に努め、効率的な事業運営を実施する。  
また、公営企業会計導入に向けて、関係部署と緊密に連携し、円滑な運営が開始できるようにする。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。